

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 佐藤正道
 ガバナー補佐 網代智明
 会長 石川邦俊
 幹事 紺野容樹

情熱 行動
 感動 共有
 地区重点目標
 1. DEI を取り入れた会員増強拡大
 2. よりインパクトのある奉仕事業の実践
 3. 活動の情報発信
 4. ネットワークの構築
 5. ポリオ撲滅

2022-2023年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 ジェニファー・ジョーンズ 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433
 ウィンザー・ローズランドRC (カナダ・オンタリオ州)

通算

9月は基本的教育と識字率向上月間【ロータリーの友月間】

第6回 [3078] 例会報告 令和4年(2022)9月1日(木)

出席委員会報告

会員総数	39名
出席会員	27名
欠席会員	12名
出席率	69.23%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 石川邦俊 会長

◆国歌 ◆ロータリーソング〔奉仕の理想〕 白岩裕和 ソングリーダー

◆四つのテスト 高倉 怜 職業奉仕委員

◆お客様紹介 2021-22年度飯坂RC奨学生 李岳 さん

.....lunch time.....

◆会長の時間



今日も例会ご出席ありがとうございます。7月末から8月の頭にかけて、我がクラブもコロナの関係で休会という形をとっておりましたが、依然としてまだ2200人ぐら

い、福島県で感染者が出ております。そんな中で、先週、先々週とガバナー補佐訪問とガバナー公式訪問が行われました。ガバナー公式訪問の時に、ガバナーは髭をどうしてはやしているのか喜多方の幹事からぜひ聞いてくれと言われていたのですが、お聞きするのを忘れてしまい、今度のガバナー歓迎会の時にお聞きしようと思ったら、皆さんにお知らせしたように、ガバナー歓迎会も中止、新会員セミナーの懇親会も中止となってしまいました。第一第二分区で中止となり、いわきの方でも取りやめているという状況であります。それから、今日9月1日は防災の日です。今後、東京で30年の間に70%の確率で大災害が来ると言われています。いつ来るかわからないのが災害です。今日を機会に防災をもう一度見直して、皆さんで頑張ってくださいと思います。今、火災がだいぶ多くなっております。パキスタンでは国土の多くが洪水で埋もれているとテレビで言っておりました。火災も今は死亡事故が多くなる火災が発生しております。災害には気をつけていただいて、9月1日は防災の日ということで、覚えていただければと思います。また、9月25日のスポ GOMI 大会ですが、4名の方の申し込みしかありません。ぜひ若い方に参加していただいて、ロータリーはゴミ捨てる人をなくすため、それを皆さんに見せるということで、ぜひ参加していただきたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。



ロータリーソング 四つのテスト

◆幹事報告 紺野容樹 幹事

A. 月信 「ロータリーの友」9月号 「ガバナー月信」9月号 No.3

B. 来信

- ① 県北第二分区分ガバナー補佐 網代智明 氏より
「9月7日開催のガバナー歓迎晩餐会の中止のお知らせ」
- ② ガバナー 佐藤正道 氏より
「2023-24年度青少年交換留学生(派遣)の募集について(高校生)」
派遣期間 2023年8月以降から約1年間

◆福島地区薬物乱用防止指導協議会より御礼 佐藤喜市郎 会員

今日は皆様の「ダメ。ゼッタイ。」運動へのご協力に心からお礼を申し上げたいと思います。先々週から計3回、募金をお願いしまして合計51,000円、皆様から浄財が集まり、国連に募金としてお送りさせていただきました。実は私は薬物乱用の福島県の会長やっております。本当に飯坂ロータリークラブの皆様方にバックアップをしていただいて、大きな顔で会長の立場を尽くさせていただいております。昨年に引き続き、今年も本当に大変感謝を申し上げたいと思っております。これは昨年、今年と福島県でもトップの浄財額です。素晴らしい成績です。飯坂ロータリークラブさんには、桁が違った大きな金額になったことをご報告させていただいて、御礼とさせていただきます。ありがとうございました。

◆ロータリー情報小委員会からのお知らせ 菅野浩司 小委員長

ロータリー情報委員会から、本日、ロータリーの友9月号とロータリー月信9月号が配布されております。私の方から1点、大事なところを、ロータリーの友の18頁に、先週のガバナーがおっしゃっていたロータリーの友の電子版バックナンバーが見られるというところがありますので、インターネット上でロータリーの友を検索していただいて、IDとパスワードがありますので、お時間ある時にご覧ください。



奨学金の贈呈

近況報告「安齋さんにジュシーで美味しい桃をいただきました！これからパソコンのお手伝いに行く予定です。」

電子版(飯坂RC)
 ID:2530-00257
 PW:00257-221

◆スマイリングBOX 伊堂里佳 小委員長 【合計19s】

石川 邦俊	会員	3 s	横山会員のスピーチたのしみしています。
紺野 容樹	会員	3 s	横山会員のスピーチ楽しんでいます。
村上 孝裕	会員	3 s	横山さんスピーチ楽しんでいます。
斎藤 裕司	会員	3 s	横山会員のスピーチありがとうございます。
佐藤 真也	会員	2 s	飯坂温泉の地酒純米吟醸摺上川のひやおろしが本日発売になりました。皆様ぜひよろしくお願ひします。
白岩 裕和	会員	2 s	横山会員のスピーチ楽しんでいます。
横山 辰徳	会員	2 s	妻の誕生日のお花を頂きありがとうございます。横山会員のスピーチ楽しんでいます。
菅野 浩司	会員	1 s	本日のスピーチよろしくお願ひします。
			横山会員のスピーチ楽しんでいます。よろしくお願ひします！

◆新会員スピーチ

横山辰徳 会員



皆さん、こんにちは。不動産総合研究所の横山と申します。今日は私のことを知ってもらおうということと、あとは仕事の会社の関係などのお話ができたらなと思っております。それでは始めさせていただきます。私の生い立ちとして、私は新地町で生まれて、小学校6年生の時に相馬市に転校し、中学、高校と進学し、そこでは今でも生活の一部になっている乗馬に出会います。それは、地元で「相馬野馬追」というお祭りがあるのですが、どうしても出たいという思いが強くあり、馬術部のある部活に行けば、出られるのではないかと思い、相馬農業高校の馬術部に入りました。3年間一生懸命に練習をして、3年生の最後には、全国クラスの大会や、強化指定選手になったのが良い思い出かなと思っております。今も大会に出場したり、国体に出たいと一生懸命練習をしております。高校3年生の時には、相馬野馬追に出場することができ、やりたいことが叶って、良かったと思っております。現在は、裏方の手伝いをさせていただいております。来年は娘を相馬野馬追に出場させたいと思ひ、今は乗馬の練習に、福島競馬場でスポーツ少年団があるので、そちらに通って、娘は一生懸命練習をしております。やはり親の影響なのか、娘の夢がジョッキーになることなので、親としては夢に向かって協力していきたいと思っております。

高校から卒業してからの話になりますが、私は東京の宮内庁で5年間くらい働いておりました。そこでは、外国の大使が来る時に「信任状捧定式」という、大体の方が馬車を使うので、東京駅までお迎えに行って、宮殿に送って来るという行事があるのですが、その車馬課主馬班に配属されました。また、宮内庁では園遊会や紫綬褒章の贈呈式のお手伝いなど、普段はなかなか経験できないようなことをさせていただいた5年間でした。5年を経過したと同時に、やりたいことがあって宮内庁を退職しまして、理由はもっと乗馬について勉強したいということで、イタリアに三カ月間の乗馬留学をしました。帰国後は、椎茸販売の会社に行きまして、そこは3年か4年おりました。また、その会社の社長さんが所有する北海道の馬や牛の牧場をお手伝いしながら過ごしておりました。その時に友人から、今度は競馬の育成場で働かないかと誘いを受け、それも北海道でしたが、正直、育成場は基本的に怪我がつきもので、命がいくつあっても足りないという場所なのですが、行くことに決めまして、常に命がけの仕事になりました。1歳馬2歳馬は、体が柔らかいので、そのまま後ろにひっくり返るとか、人ごと吹っ飛ばされるというのがよくあるのです。私も右目にヘッドバックをくらって、眼底骨折をしたり、鎖骨を折ったり、首の骨が折れるとか、変なところばかり骨折をしましたが、そこまで後遺症もなく生活できているので良かったかなと思ひます。1年ぐらい経過した時に私の母が倒れて、福島に帰ることになりました。母も大きな手術をしたのですが、今でも一緒に相馬で暮らしているので、後遺症が無く幸いかなと思っております。帰って来てからは、JAで働き始めました。そんな中で東日本大震災が発生し、地震の時にはいろんな方に助けていただきながら、着実に復活していったのは、そういった方々のお力があつたからだと思っております。しかし、なかなか風評被害は無くないもので、私も野菜や米を担当していたのでわかるのですが、ちゃんと表示しても買ってもらえないという現実がだいぶ続いたので、その中で、ではどうするのかと考えながら、色々試行錯誤していったことがありました。ただ、そんな中でお話があつたのは「福島県産が一番安全なのだ」と、何故かという「全て検査して出荷しているから一番安全だ」と、そういうことがあつても福島県産というのは、どうしても敬遠されがちです。そういう中で、自分たちが作った物を地産地消という形でやるというのも一つですし、あとは、そういうことにも負けずに取り組んでいくというのも一つかなと思っております。私は農協を離れましたが、今でも農協の職員と交流があり、少しでも協力したい、少しでも手伝えることがあるか、私にできることはないかと思っております。

これからですが、農協の最後は共済のライフアドバイザーをやっており、その時に、私の妻の父が経営している不動産業に興味があつたので、手伝わせてくださいというお話をし、了承をいただいております。今、不動産業を始めて、約6年になります。仕事をしながら一生懸命勉強し、宅建士の国家資格に合格し、ちゃんとした不動産屋さんになれたのかなと思ひます。当社の歴史は前社長の義理の父が、昭和62年5月に設計事務所から始めました。相続税に対する問題点などを解決してあげようと、周りの方から信頼が厚く、何か相談があれば連絡が来ておりました。5年ほど経って、少々の不動産業の私の経験が備わっていた時に、事業承継の話が出てきました。当初より早い段階の事業承継となり、ロータリーでも一緒ですが、KFSの齋藤さんにアドバイスをいただきながら、昨年11月に会社を引き継ぐことになりました。私自身も前社長のように、信頼されるよう、経験を積んでいなくてとは思っております。もちろん、今までの私の経験は全然無駄ではなかったのかなと思っております。様々な人との出会いというのは、無駄なもの一つもなく、自分を形成する一部だと思っております。これからは、経営のアドバイスについて、諸先輩方にお聞きして、アドバイスをいただけるようにしたいと思っております。

私には今目標がありまして、今後は馬を活用した事業を不動産業と別にしていきたいと思ひます。例えば、馬の見えるカフェなど、そういう場所を提供できないかと常に思っております。もう一つのやり方として、地域貢献という形になるように、体に障害のある方などをそこで働いていただいて、そういう部分で自分で働いて、金もらえる職場づくりをしたいと考えております。今日は時間となりました。次回またお話しをしたいと思います。ありがとうございます。

◆閉会点鐘 会長